

「夢よ、氷の火ともなれ 佐藤惣之助生誕130年記念展」を開催

義兄である萩原朔太郎は、佐藤惣之助を次のように評しています。

「君は俗人であって詩人であり、商人であって浪漫家だ。」

佐藤惣之助（さとう・そうのすけ、1890-1942）は詩人で、晩年はコロムビアレコード専属の作詞家でした。惣之助の作詞した昭和歌謡曲「赤城の子守唄」は前橋、「湖畔の宿」は群馬にそれぞれ縁が深く、阪神タイガースの応援歌「六甲おろし」も惣之助が作詞しました。惣之助は萩原朔太郎の末妹と結婚し、朔太郎の葬儀の際には葬儀委員長を務めました。その4日後に急逝してしまいます。本企画展では惣之助の生誕130年を記念し、彼の詩人としての活動に焦点を当てつつ、多くのジャンルで活躍した彼の魅力を紹介します。

1 展示期間・時間

令和2年8月1日(土)～9月27日(日)水曜日休館

9時～17時(入館は16時30分まで)

※新型コロナウイルスの感染状況により、運営方法が変更になる場合があります。

2 会場・観覧料

前橋文学館 2階展示室（千代田町三丁目12-10）

一般400円（高校生以下、障害者手帳持参の方と介護者1名は無料）

3 今回の展示の見どころ

- ・音楽の栈橋…惣之助作詞の「赤城の子守唄」の楽譜を階段欄干に装飾して演出
- ・海のイメージ…川崎生まれで海に親しんでいたことから会場内を海のイメージで演出
- ・釣りのイメージ…釣り好きの惣之助から発想し、海のイメージと合わせて随所に釣りを演出
- ・バラのイメージ…惣之助の自宅の庭に咲いていたというバラの花にちなみ、総数約5,000本のバラを演出展示
- ・前橋市立図書館と連携…惣之助に関する書籍や、惣之助と縁のある前橋出身の文学者（佐藤垢石、岡田刀水士）の著書を市立図書館で貸し出し
- ・本庁ロビーでのサテライト展示…8月28日(金)～9月25日(金)の期間中、本庁1階ロビーでサテライト展を開催予定

4 その他

- ・惣之助の戯曲『田舎祭』をリーディングシアターで初上演（事前に録画するため非公開）。展示期間中、文学館公式YouTubeチャンネルで公開。
- ・バラ展示の協力先は群馬県花き振興地域協議会（県蚕糸園芸課ほか）、日本ばら切花協会群馬県支部、市農政課。
国の「公共施設等における花きの活用拡大支援事業」による、花の需要喚起及び花のある生活の定着の促進のため。

担当 文化国際課 文学館
電話 027-235-8011